

コース 7 あずまやさん 吾妻耶山縦走

リーダー CL K/T SL M/T
 実施日 平成21年 5月 6日(水) 天候 晴間もある曇り、後雨
 参加者 25(男性 8 女性 17)
 グレード B上~C

コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
新津駅西口		5:50	秋葉区役所、越後川口 SA 経由
水上 IC		8:15	国道 291 を水上方向へ剣道 270 で左折
仏岩ポケットパーク	8:30	8:50	広い駐車場、WC は使用中止。立派な案内板あり
仏岩峠~仏岩	9:12	9:25	新緑が美しい、アズマシャクナゲも最盛期で多し
第2分岐	10:22	10:30	この直前、木の根と岩の急登約 20 分、この後舟底の小谷を越える
吾妻耶山頂	10:48	11:45	谷川連峰は頂上部だけ隠して、眼前に展開
大峰山山頂	13:00	13:10	無線塔の3局ある平凡な山頂
大沼越分岐	13:45	13:50	大アルミ梯子のキレットと、岩混りの切り立つ尾根下り
大峰沼(キャンプ場)	14:18	14:40	新緑に囲まれ、雨に煙る大沼越の鞍部でホッとす。沼が美しい
登山口駐車場	15:00	15:15	
水上 IC	15:48		月夜野 IC より、水上が近い。往路と同じ
新津駅西口	18:20		予定より、約 1 時間早く帰着した

山行等概要(幹事のコメント)

- ・ 吾妻耶山(1341m)は、谷川岳の支稜が南へ伸びて、水上温泉と猿ヶ京温泉を分ける辺りの中間に位置する山です。信仰の山で麓の村々の住民が建てた大きな石祠が3基あるのが特徴です。
- ・ 今回の山行は、水上と猿ヶ京を結ぶ、仏岩トンネルの入口手前から上り、吾妻耶山、大峰山を経て大峰沼へ下る縦走コースです。
- ・ 巨大な仏岩に先ず迎えられ、満開になってもなお赤みが美しいアズマシャクナゲ、その周辺に広がる新緑、やがて岩と木の根の急登。岩のゴロゴロする舟形地形と巨岩を通過して山頂へ。
- ・ 大峰山へはなだらかな起伏だが、やがて、大峰沼の直上の大沼越の鞍部までは、樹林がなければ、怖いヤセ尾根下りで少々緊張する。最後は美しい大峰沼で心が癒され、今日の山旅を終えました。

- ・ 吾妻耶山頂で昼食休憩後、歩き出したら雨がポツラポツラと、沼のあたりで本降りとなったが、皆さんの健脚に支えられ、全員無事、1時間早く駐車場へ着くことができました。

「'09. 5.6 吾妻耶山、大峰山へ」

(1284) Y/T

山行の前日は、いつも軽い後悔をする。そして当日は不安な気持ちで集合場所へ向う。現地到着。前も後ろもベテランばかり、緊張して歩き出す。山道はすぐ登りに入り、視界のない林の中を下ばかり見て歩く。晴天続きのふかふか道が気持ち良い。突然眼の前が開けて「あれが仏岩」という声がある。振り上げば思っていたより随分大きな、まさに座居する仏様だった。このへんで汗も出て、少し気持ちも楽になる。口も動き始めた。道はだんだん急登。眺めは良くなってきた。前の方から歓声上がる。まっ白な花びらの先端に、ポツと紅を置いたアズマ石楠花が、つつじやブナのしたたる緑を背景に、あそこにもここにも咲いている。



吾妻耶山山頂

この花の一番美しい時に出逢えたと思う。そんな石楠花の中を木の根頼りに進む。「しゃべるの止め！」のリーダーの声に見れば左は切れ落ちた崖道が続く。慎重に進むが、ますますゴロゴロした岩や木の根の急登、高度を増す程に、裸木が多くなり視界は開ける。岩尾根を巻いて、いよいよ吾妻耶山頂上。麓の三村が祭った石祠が三つ、広々とした平坦地に立派だった。先ずは初めましてとお参りして、ここで昼食だが、その前に記念撮影。晴れ上がった空に、谷川連峰が素晴らしく「なるべく低くなって並んで！顔より山だろ。山撮らなきゃ！」とサブリーダーの声に一同ドッと笑う。確かに！

昼食を済ます頃、ポツッと雨があたった。残念だが早目に出発。広々とした尾根道を二三上下して、穏やかな形の吾妻耶山をふり返りながら進めば大峰山へ。このあたりで雨は本格的に降り出した。こりゃ止まらないと観念した頃、切れ落ちた岩壁に取りつけられた長い金属製の階段が見えて来た。「手に物を持たないで！ 慎重に」と何度もリーダーの声が飛ぶ。ここで傘をしまいしっかりと雨仕度をして、一気に下降して大峰沼へ。さして広くはないが浮島もあり、付近の林の中にはバンガローが点在している。雨に濡れた緑はいよいよ美しく、山は晴れても降っても言う事なしと思う。広々としたカラマツの林の中を、整理体操するような気持ちでゆっつくり抜けて帰路につく。

楽しかった。無事だった。お世話になりました。記憶が前後していたらお許しを。